

アピール

私たち連合は、「医療と介護の現場にさらなる処遇改善を！」をテーマに、「医療・介護フェス 2024」を開催し、連合に集う仲間とともに課題認識を共有しました。

医療と介護の現場では慢性的な人手不足が続いていますが、将来にわたり医療・介護ニーズに応えられる持続可能な提供体制、質の高い医療・介護サービスの確保のためには、現場で働くすべての人が安心して働き続けるよう、処遇改善や働き方改革が不可欠です。

2024 年度診療報酬・介護報酬の同時改定では、人材確保の必要性に加え、物価上昇を踏まえ、賃上げに重点を置いた改定が行われましたが、他産業との賃金格差や昨今の賃金・物価動向を踏まえると、決して十分とは言えません。とりわけ、介護においては、居宅介護支援などが引き続き加算対象外とされるなど、多くの課題が残っています。また、基本報酬が引き下げとなった訪問介護などの在宅ケアに影響が生じないよう、必要な対策も講じるべきです。

国には、命とくらしを守る仕事に見合う賃金となるよう、医療・介護における継続的な処遇改善に向けた、さらなる施策の実行を求めます。

同時に、医療現場では、長時間労働の是正や勤務間インターバル制度の導入、業務負担の軽減などにより離職防止をはかり、質の高い医療を確保することが重要です。介護現場では、事務負担の軽減などにより、働く人が利用者のために安心して働き続けることができる環境を整備し、ケアの質を向上させることが重要です。

私たちは、医療と介護の現場で働くすべての仲間が、仕事にやりがいや誇りを感じながら長く働き続けられる職場づくりに向けて、職場における健全な労使関係を構築し、組合員の輪を広げ、連帯をさらに強めていきます。そして、職場や地域の声を結集し、医療と介護の現場の実態を広く国民に訴え、職場環境の改善や政策の実現に向けて取り組んでいきます。

2024 春季生活闘争では、「みんなで賃上げ。ステージを変えよう！」というスローガンのもと、「人への投資」を起点として、ステージを変え、経済の好循環を力強く回すことをめざして、それぞれの組合が成果を勝ち取ってきています。この賃上げの流れを、医療・介護の現場においても行き渡らせられるよう、本日の集会を契機とし、私たち全員が「安心と信頼の医療と介護」を実現する当事者となり、「働くことを軸とする安心社会」をめざして行動していきましょう。

2024 年 5 月 18 日

日本労働組合総連合会

医療・介護フェス 2024 ～安心と信頼の医療と介護 中央集会～